

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【公開番号】特開 2018-60832 (P2018-60832A)

【公開日】平成 30 年 4 月 12 日 (2018.4.12)

【年通号数】公開・登録公報 2018-014

【出願番号】特願 2016-195059 (P2016-195059)

【国際特許分類】

H 0 1 F 27/245 (2006.01)

H 0 1 F 27/24 (2006.01)

【F I】

H 0 1 F 27/24 A

H 0 1 F 27/24 C

H 0 1 F 27/24 J

H 0 1 F 27/24 M

H 0 1 F 27/24 Q

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

閉磁路を形成する複数の磁心ブロックを備え、

前記磁心ブロックは、複数の磁心片の積層体であり、

前記磁心片は、複数のアモルファス薄帯片が積層された積層構造と、前記積層構造の積層方向における両方の端面のそれぞれの少なくとも一部に配置された電磁鋼板と、を含み、前記積層構造及び前記電磁鋼板が積層面で固定化され、

互いに隣り合う二つの磁心ブロック間に、それぞれの磁心片が前記積層方向における端面で互いに接合する接合部を有し、前記接合部において、一方の磁心ブロックにおける磁心片の電磁鋼板と、他方の磁心ブロックにおける磁心片の電磁鋼板と、が対向配置されて接している、磁心。

【請求項 2】

閉磁路を形成する複数の磁心ブロックを備え、

前記磁心ブロックは、複数の磁心片の積層体であり、

前記磁心片は、複数のアモルファス薄帯片が積層された積層構造と、前記積層構造の積層方向における両方の端面のそれぞれの少なくとも一部に配置された電磁鋼板と、を含み、前記積層構造及び前記電磁鋼板が積層面で固定化され、

前記磁心片は、二つの前記積層構造と、前記二つの積層構造の、互いに対向する側とは反対側の各端面に配置された二つの第 1 の電磁鋼板と、前記二つの積層構造の間に配置された第 2 の電磁鋼板と、を有し、

前記二つの積層構造は、一方の積層構造の長手方向の一端と他方の積層構造の長手方向の一端とが、前記長手方向において互いに重なる位置から前記長手方向にずらされ、前記二つの積層構造が一部で重なる状態で配置され、前記積層構造の前記長手方向と直交する短手方向における積層面を含む平面において前記積層構造と前記第 1 の電磁鋼板と前記第 2 の電磁鋼板とが固定化されている、磁心。

【請求項 3】

前記磁心片における前記積層構造と前記電磁鋼板とは、エポキシ系樹脂を用いて固定化されている、請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁心。

【請求項 4】

前記積層構造は、前記電磁鋼板の短手方向の表面全体に配置されている請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか 1 項に記載の磁心。